



芭蕉元禄朝市 好評開催中!!

新鮮野菜即売会

大垣市農業生活改善グループ連絡協議会は、会員が手塩にかけ育てた野菜などを、お値打ちに提供する即売会を行います。

- *とき/8月13日(火) 午前9時~10時30分
- *ところ/大垣城ホール玄関口ビー
- *内容/新鮮野菜や供花、十万石みそなどの販売
- *問合せ/同協議会(農林課内 内線525)へ

芭蕉元禄朝市 8月以降の開催日

- 【8月】11日・18日・25日
- 【9月】8日・15日・22日・29日
- 【10月】13日・20日・27日
- 【11月】10日・17日・24日
- 【12月】8日・15日・22日
- 【1月】12日・19日・26日
- 【2月】9日・16日・23日
- 【3月】9日・16日・23日・30日

～大垣産のとれたて新鮮野菜がいっぱい～

「地産地消」。暮らす土地において生産されたものを、その土地で消費すること。

現在、この地産地消の考え方に注目が集まり、その役割を再認識されているのが「朝市」です。大垣の朝市は市内各所で開かれ、どの朝市会場も朝どりの新鮮野菜と生産者の笑顔が店頭に並び、多くの人が集まり、にぎわっています。

今の時期、店頭を飾るのはキュウリやトマト、ナスなどの夏野菜、その野菜を使った漬物などの加工品、季節の花々たち——。数に限りがあるため、売り切れとなってしまうこともあります。お客さんからは『新鮮でおいしい』、『旬のものがお値打ち』といった喜びの声が聞かれます。

市は、こうした「にぎわい」や人と人との「ふれあい」を、まちなかに生み出そうと、農家の皆さんと共に、昨年度から奥の細道むすびの地記念館イベント広場で、「芭蕉元禄朝市」を開催しています。

年間を通じ、まつりや元気ハツラツ市などの開催日を除く日曜日に、同広場には地元・大垣産の

とれたて新鮮野菜がズラリと並びます。1年を経過して、常連のお客さんも増え、毎日にぎわいを見せています。

笑顔あふれる芭蕉元禄朝市に、ご家族お揃いで出かけてみてはいかがでしょうか。

朝市情報

市は、市内各地で開かれている朝市相互の交流や連携を図るため、「大垣市朝市連絡協議会」を立ち上げ、その活動を支援しています。同協議会では、次のとおり朝市を開催しています。



名称	とき	ところ
西美濃朝市クラブ	3月～12月 毎週日曜日 8:00～9:00	J A青雲研修センター
宇留生菜園クラブ朝市	年間開催 月1回(不定期) 8:30～11:00	J A宇留生支店敷地内
郭町サクランボグループ	3月～12月 毎月1日 8:00～10:00	郭町商店街翠画廊前
リアリティ花の里	4月～12月 毎週日曜日 6:00～9:30	一之瀬ポケットパーク
もんでこ朝市	4月～12月 毎週日曜日 6:00～9:00	かみいしづ緑の村公園西側
南部朝市	年間開催 毎週土曜日 7:30～8:30	J A洲本支店敷地内
えぼしの里・上石津	4月～12月 毎週水・土・日曜日 8:00～15:00 1月～3月 毎週 土・日曜日 8:00～12:00	上石津町下山(国道365号沿い)

夏の風物詩 ヒマワリ畑

—今年も墨俣町、見ごろは8月下旬—



写真は、平成21年に墨俣町で行われたヒマワリ畑の様子

大垣の夏の風物詩となった休耕田を利用したヒマワリ畑——。今年は、墨俣集落営農組合により、約20万本のヒマワリが墨俣町地内の約4ヘクタールの場所(下図参照)で栽培されています。現在、ヒマワリはスクスクと成長し、8月下旬から9月上旬にかけて、見ごろを迎える予定です。開花状況などは、市ホームページでご覧いただけます。

また、8月25日(日)には、地域の皆さんによる飲食のバザーも開かれます。

夏の思い出に、お気軽にお立ち寄りください。

詳しくは、農林課(内線523～525)へ。

